

食道癌患者に関する炎症・栄養系マーカーの術後予後因子としての有用性に関する研究

1. 研究の対象

2009年1月～2014年1月に当院で食道癌の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

食道癌で当院にて2009年から2014年の間に食道切除術を受けた143例を対象とし、手術前の採血結果から白血球、リンパ球、血小板数や炎症の指標であるCRP、栄養の指標となるアルブミン値を測定する。

様々な癌腫において白血球とリンパ球の比率（NLR：Neutrophil Lymphocyte Ratio、PLR：Platelet Lymphocyte Ratio）や、CRPとアルブミンの比率（CAR：CRP Alb Ratio）は生命予後を予測する因子としての有用と報告されている。

食道癌におけるこれらのマーカーの予後を予測する因子としての有用性を検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：抗がん剤治療の治療歴、

試料：血液、手術で摘出した組織

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者 外科学講座 石橋 勇輔

住所：埼玉県所沢市 並木 3-1

電話番号：080-3241-6737

-----以上